

JR東海労ニュース

No.1518

2011年2月15日

JR東海労働組合

JR春闘を統一要求・統一闘争で闘おう！

2月17日団体交渉開始！

ベア3,700円、定期昇給4,800円を要求！

JR東海労は2月14日、会社に「2011年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求」を『申27号』で申し入れました。JR総連統一要求2000円を基本に、格差是正・実損回復分として1,700円を上乗せし、JR東海労はベア要求3,700円としました。1,700円の根拠は、賃金表が存在した時代の定期昇給と今日の新たな制度の定期昇給との差額から算出しました。また、定期昇給の要求は基準昇給額1,200円×4=4,800円の完全実施です。

また、現賃金制度は現等級経過年数によって基準昇給額が減額され、昨年からは定期昇給が1,000円×4=4,000円、今年は800円×4=3,200円しかアップしないケースが生み出されます。苦労した者が報われる賃金制度ではありません。JR東海労は現等級経過年数による減額の撤廃を要求しました。

会社は役員の高額報酬や展望不透明なりニアへの

投資を止め、社員の労苦に応え、満額回答せよ！

会社は1月28日、「平成23年3月期第3四半期決算」を発表しました。営業収益は1兆1,402億円（同比3,1%増）、経常利益は2,183億円、純利益は1,325億円（同比30,6%増）の増益増収で、平成23年度通期においても上方修正しました。この増益増収は、日夜の社員の努力の結果であることは言うまでもありません。支払い能力は十分あります。これまでの「景気の見通しが悪い」「世間水準より高い」という理由による賃金抑制は通用しません。認めるわけにはいきません。役員の高額報酬や展望不透明なりニア中央新幹線への投資を止め、社員の労苦に応えるべきです。

JR総連の旗の下、団結を固め、JR春闘を闘おう！

JR7社は、昨年の2010年春闘において、ベアゼロ、夏季手当で足並みをそろえるなど、これまでもなく結束を固め臨んできました。さらに高速道路料金や支援機構の剰余金などに対してもJR7社が連名で国土交通省に申し入れるなど、結束をさらに固めました。今春闘においても、結束を固め、「オールJR」で臨んでくることは必至です。

JR総連の団結を固め、職場からJR春闘・統一闘争として闘いましょう！